



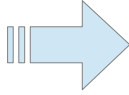
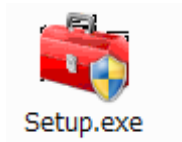
自分だけが見れるフォルダを作る

Safe Box

マニュアル

1. インストール

Setup.exe を起動すると統合インストール画面が出ます。

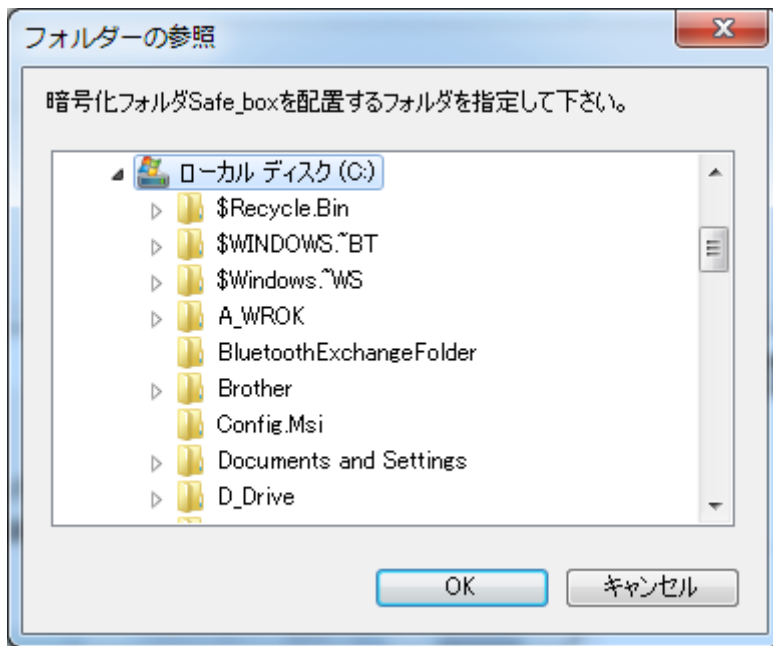


① Safe Box をインストール画面



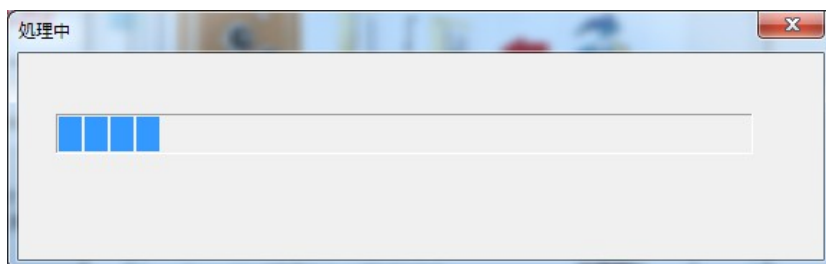
このボタンで設置開始

②機密保存するフォルダを指定



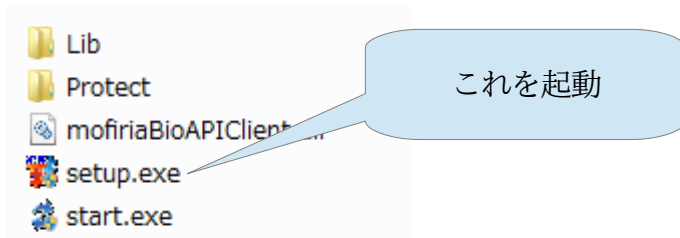
Safe Box は機密保全からディスクの任意の所に保存します。

パスは **Windows** の古い機能は最大で約 **240** バイトです。深いパスを指定すると動かないソフトが出て来ます。ご注意ください。

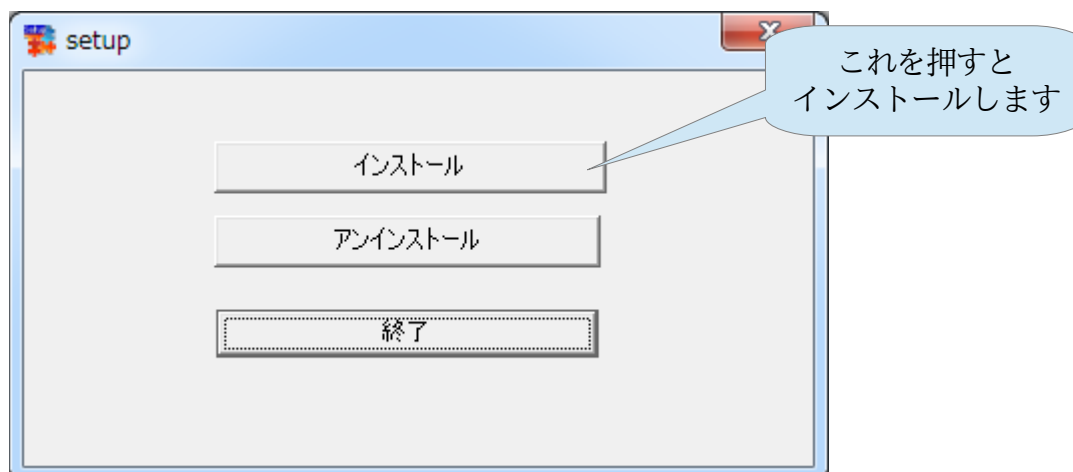


インストールは数分かかります。

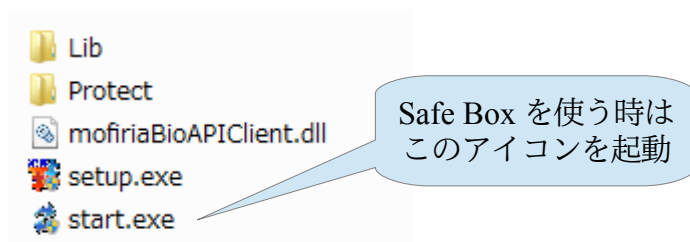
③ Safe Box を設置が終ると、Safe Box 用の Setup.exe を起動してください。



④ Safe Box のインストール



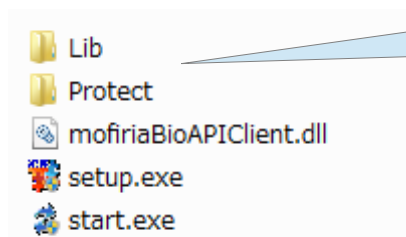
④ 次回起動から、Safe Box を使用できます



⑤ 鍵の確認



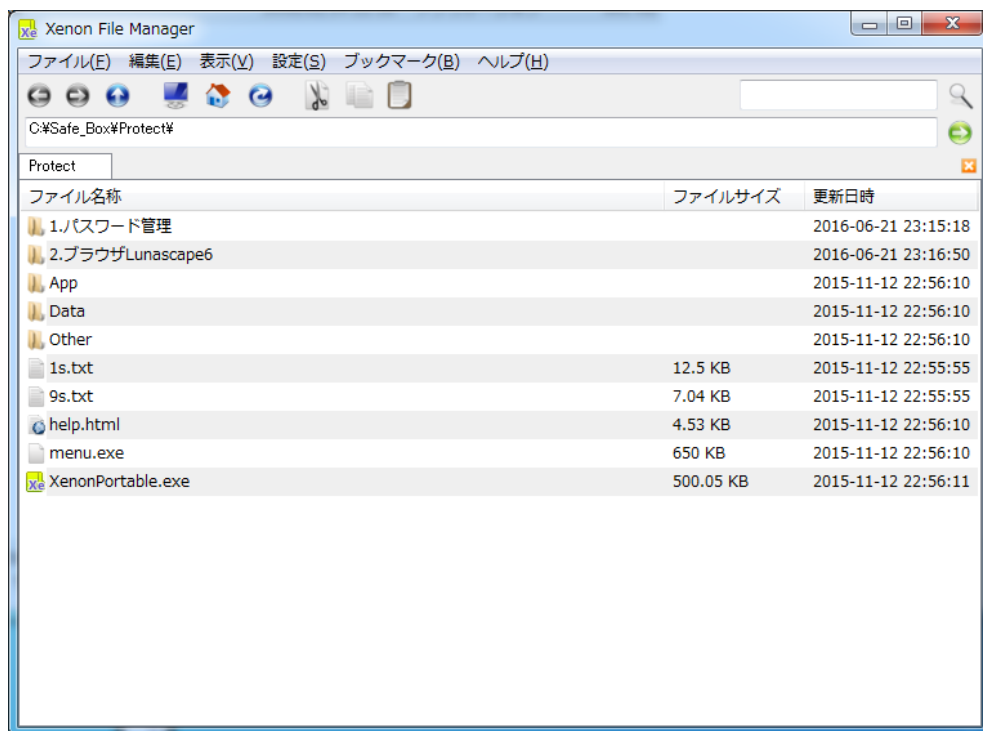
⑤ 秘密のフォルダを開く



この鍵のかかった
フォルダを開きます

Protect フォルダは「Xenon (キセノン)」というファイルブラウザにて開きます。以後、Xenon の中でのみ「Protect」フォルダの操作が可能です。

※ Xenon はフリーウェアのファイルブラウザです。

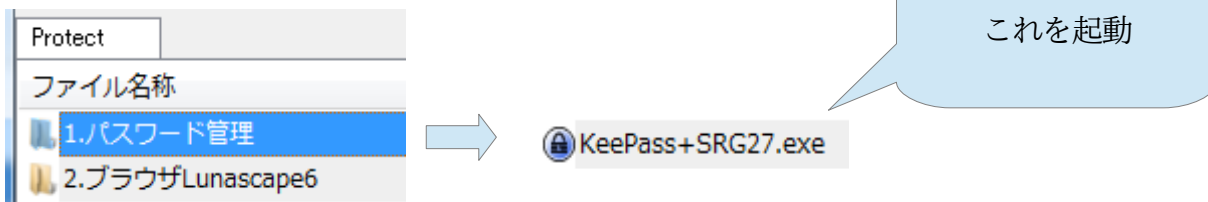


- ・ Protect フォルダ内のファイルの読み書き、コピーはXenon からのみ実現します。
- ・ Protect フォルダ内のアプリの実行はXenon からのみ実現します。
- ・ Xenon 以外からの操作は全て禁止します。

【注意】

Protect フォルダ内では、ファイル、フォルダのリネームは仕様上、禁止しています。
リネームは出来ませんので注意ください。

2. パスワード管理



KeePass+SRG27 というパスワード管理ソフトが入っています。このソフト本体はパスワードで鍵のかかる一般的な管理ソフトです。銀行口座、クレジットカードの管理に利用ください。

3. インターネットを見るブラウザの導入


Safe_Box に自分専用のブラウザの導入方法を説明します。

ここでは動作確認(2016.06 時点) ターネットブラウザ「ルナスケープ」の導入を紹介します。

①ダウンロード

<http://www.lunandscape.jp/>

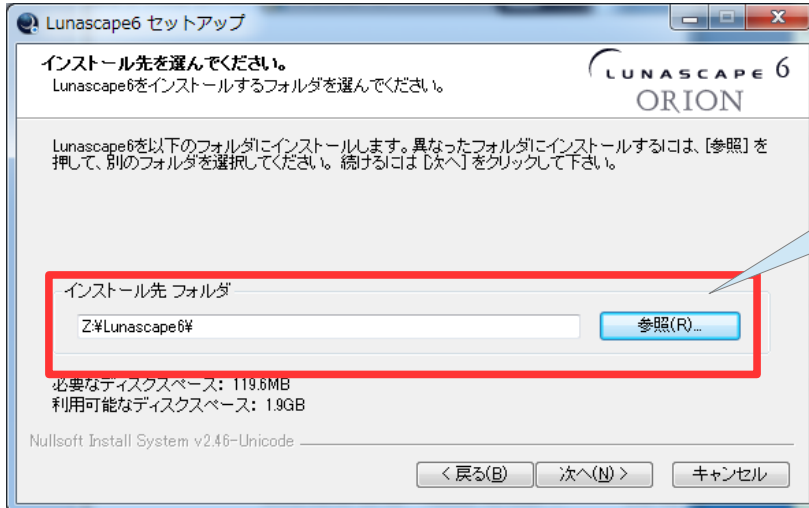
こちらより、フリーウェアの「ルナスケープ」をダウンロードします。Windows 版を入手してください。

 LunaSetup..._ja.exe

②実行

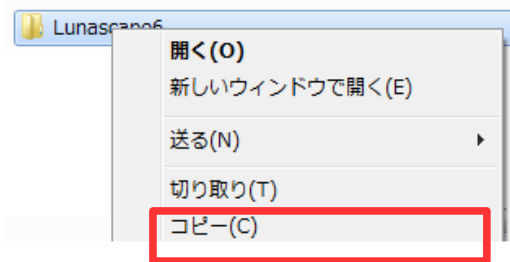


③保存

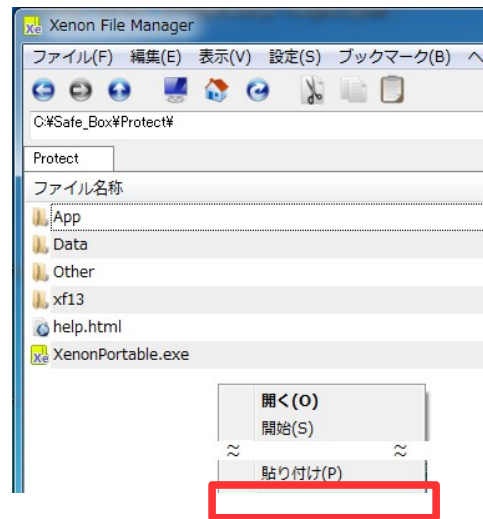


どこか判りやすい
保存先を指定

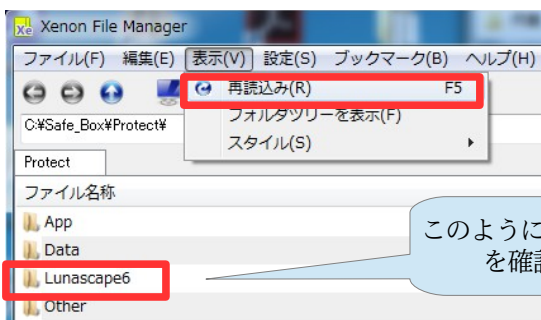
④ Safe_Box に保存



A. 保存したフォルダをマウス右ボタンでクリックしコピーを選択。



B. Xenon を開き、余白でマウス右ボタンを押し、貼り付けを選択。



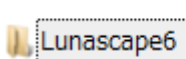
このようにコピーを確認

C. [表示] → [再読み込み] を押し、コピーの完了を確認

※Xenon は表示ラグに癖があります。

⑤実行

これで導入は終わりです。Xenon から「Luna.exe」を実行してブラウザは起動します。ここから自分だけのネットサーフィンを活用ください。



これを実行して
ネットサーフィン開始

4. FAQ

Q1. Safe Box のアンインストール方法は？

A1. Protect フォルダの置いてあるフォルダ内の Setup.exe を起動してアンインストールしてください。

Q2. Protect フォルダ内のリネームが出来ない。

A2. 本ソフトはProtect 内のリネームを禁止しています。

Q3. Xenon で Protect フォルダ内にコピーできないファイル、フォルダがある。

A3. コピーにあたり OS のファイル変換に依存する特殊なファイルはコピーできません。

Protect フォルダは秘密保全のため OS を経由して内部で変換を行いコピーするファイルは遮断がかかります。弊社の確認では.exe 形式のファイルでコピーできない物がありました。

推測ですがMS が提供する「.net framework」形式のような中間コードと呼ばれる特殊な形式でこの現象が起きると思われます。